

早春の息吹 身に染む今日この頃でございます。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年の春の訪れは例年になく早く 今安朱の桜も満開に近く咲いています。春は出会いと別れの季節であるといわれます。そんな春を感じられるよき日に 本校で勤務していた教職員とお別れのご挨拶をしなくてはなりません。

一人ひとり様々な場面でかかわり、思い出の形は個々であると思われます。

長いものは10年 短いもので1年弱の本校での勤務となりましたが、お支えいただきまして本当にありがとうございました。本来ならば「離任式」の場でお別れができればよかったのですが、お便りでのお別れの言葉となりますこと まことに申し訳ありません。

ここ安朱小学校での皆様からのお支えに教職員みんな感謝の言葉を記しております。心からの言葉です。本当にありがとうございました。

学校現場で引き続き仕事をするものもありますが、離れて新たな世界に飛び込む者もあります。自分の夢に向かって素敵な一歩となりますよう エールを送りたいと思っております。

ひとかたならぬご厚情を賜りましたこと感謝申し上げます。下記に離任いたしますものの言葉を載せさせていただいております。言葉では尽くしきれませんが、お読みいただけましたら幸いです。

今後とも変わらぬご支援 ご協力 よろしく願いいたします。

安朱小学校 校長 加村 和美



創立50周年記念キャラクター  
安朱 小太郎

## 離任される方からのメッセージ

### 中川 智美先生



初めて安朱小学校の門をくぐったのは10年前でした。私はこの安朱校で皆さんの先輩方とたくさん経験させていただきました。入学式、卒業式、運動会、遠足、学習発表会、毎日の学習、給食、休み時間・・・その時々の方々の先輩方の顔が思い出されます。

産休、育休と長いお休みをいただいたので、今在籍している皆さんとは一緒に過ごすことがで

きませんでした。先輩方がそうであったように仲間と共に充実した毎日を過ごし、今、新しい学年への期待に胸をふくらませてくれていることと思います。これからも豊かな心で様々なことを感じ取りながら大きく成長していつてくれることを願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、たいへんお世話になりました。子ども達と思い出深い貴重な時間を過ごさせていただくことができましたのも、皆様のあたたかい支えがあつてのことと感謝しております。ありがとうございました。

### 堀 綾乃先生



私は、去年の4月に安朱小にやってきて、1年2組の担任になりました。クラスみんなは小学校1年生、私も先生1年生。どんな子ども達と出会えるのか、とてもワクワクしながら入学式を迎えました。

学校生活が始まってからは、勉強はもちろん、たくさんの新しい事や楽しい事を、1年2組をはじめとして全校のみんなと一緒にできるのがとても嬉しかったです。ですが、私は2ヶ月と少しでお休みをすることになりました。突然の事で驚かせてしまったと思います。本来であれば、私は1年分の思い出をいっぱいもって、みんなと一緒に今年度を終えているはずでした。一緒にいられなくて、本当にごめんなさい。

毎日私の話に耳を傾けてくれ、一生懸命学び、遊び、感じ、毎日元気に成長していく姿が眩しく、とても誇らしかったです。これからもっともっといろんな事を経験して成長していく事と思います。自分を大切に、自分の好きなものも大切に、自分だけの道を歩んで行って下さい。

少しの間でしたが、本当にありがとうございました。安朱小のみんなが、体も心も健やかに過ごせるように願っています。今までもこれからも、安朱小のみんなが、1年2組のみんなが大好きです。

### 西村 昌之先生



京都市で、38年間先生をしてきました。5年前、安朱小学校に来た時に、「こんなに山の近くで、大自然に恵まれた学校で過ごせるんだ。」と叫んでしまいました。桜並木の美しい花の色を見ると、心も穏やかになります。最初に受け持った一年生もこの春には六年生です。時の流れの速さに驚くばかりです。今年はコロナウィルスで休校となり、皆さんと会うこともできなくなり寂しい限りです。

この春からは、先生を辞めて、新しい世界に飛び出します。コロナウィルスの拡散・原子力発電による放射能で、9年も過ぎたのに未だに故郷に帰れない人々・世界中でいろいろな問題が起きています。私たちは、今起きていることの真実を見つめなおす大事な時期です。人のいう事を鵜呑みにしないで、たくさんを学び、自分の心の中で楽しいと思うことをたくさんしてください。

いよいよお別れですね。またいつかご縁があればお会いできるかもしれませんね。その時を楽しみにしています。保護皆様の温かいご支援に感謝しています。ありがとうございました。さようなら

## 梅田 佳奈先生



暖かい日が続いていますね。春は出合と別れの時期だと毎年感じます。

私はこのたび、他府県で勤務することになりました。

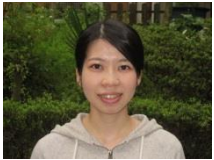
ですので、みなさんとお別れです。

この安朱小学校での思い出はたくさんあります。いろいろな行事はもちろん、毎日お話ししたことは忘れていません。

特に印象に残っているのは『みさきの家』です。4年生と一緒にいった『みさきの家』は、私も初めて行きました。あんなに自然がいっぱいで、あの場所でしかできない活動がたくさんありました。自分が子どもの時にこんな活動できたらよかったなあと思いました。お友達と一緒に活動しているみなさんの姿を見るとあたたかい気持ちになりました。

安朱小学校のみなさんはお友達に優しくて何事にも一生懸命で、心から素敵だと思います。この気持ちを忘れずに何歳になっても優しい皆さんでいて下さい。本当にこの2年間は私にとって一瞬でした。みなさんも卒業する時に一瞬だったと感じるでしょう。一日一日を大切に過ごして下さい。

## 木村 美穂先生



今までありがとうございました。

音楽の授業はもちろん、休み時間にお話をしたり給食と一緒に食べたりして、みなさんとの楽しい思い出がたくさんできました。

学習発表会では、1年生から6年生が一生懸命に取り組む姿を見て、とても胸が熱くなりました。

お別れの挨拶を直接会ってできないのはとても残念ですが、楽しい時間を本当にありがとうございました。これからも元気で、音楽を楽しんでください。

## 浦地 満理子 給食調理員さん



今年も校門の白木蓮の花が咲きました。春が急いで訪れたので、みなさんの姿を迎える前に春風が吹いて散ってしまいました。みなさんは白木蓮の芽がどんな風なのか知っていますか。葉っぱのない枝の先にふわふわの毛でおおわれた芽がたくさんついているのを見たことがありますか。

節分の豆まきもすんで「暦の上では春」と言われる頃、風はまだつめたくどんよりとして雪でも降りそうな寒い空。そんな冷たい空気の中で白木蓮の芽は銀色に輝いて「春が来るよ」と教えてくれます。

『春になると自然はみどりに変わるというが、かならずしもそうではなくいろいろな芽の色で自然は赤くなる』そう言ったのは作家のカレル・チャペックです。

校庭の桜や楓やいろんな気の枝の先にはぶつぷつと赤く染まった芽が見えます。自然が赤くなっています。春が来ています。

またいつか、自然が赤く染まる春に白木蓮の門を通過してみなさんとお会いできる日が来ますように。